
日本放送協会 理事会議事録

(平成30年10月 9日開催分)

平成30年10月26日(金)公表

<会議の名称>

理事会

<会議日時>

平成30年10月 9日(火) 午前9時00分～9時15分

<出席者>

上田会長、堂元副会長、木田専務理事、坂本専務理事、
児野専務理事・技師長、松原理事、荒木理事、黄木理事、菅理事、
中田理事、鈴木理事、松坂理事、今井特別主幹
高橋監査委員

<場所>

放送センター 役員会議室

<議事>

上田会長が開会を宣言し、議事に入った。

付議事項

1 審議事項

- (1) 第1315回経営委員会付議事項について
- (2) 公益財団法人放送番組センターへの出捐について

2 報告事項

- (1) 考査報告
- (2) 放送番組審議会議事録(資料)

議事経過

1 審議事項

(1) 第1315回経営委員会付議事項について

(経営企画局)

本日開催される第1315回経営委員会に付議する事項について、審議をお願いします。

付議事項は、報告事項として「4K・8K放送開始に向けた準備の状況」、その他事項として「総務省『放送を巡る諸課題に関する検討会』について」です。

(会長) ご意見等がありませんので、原案どおり決定します。

(2) 公益財団法人放送番組センターへの出捐について

(関連事業局)

公益財団法人放送番組センター（以下、「センター」）への出捐（しゅつえん）について、審議をお願いします。

センターは1968年に設立され、1989年の放送法改正を受けて1991年度から、NHK、民放、横浜市の拠出による基金の運用益を財源に、放送番組を収集・保管して一般の視聴者に供する「放送番組ライブラリー事業」を行ってきました。

しかし、低金利の中で、基金の運用益のみによるライブラリー事業の運営が困難となったことから、センターは2005年度以降、NHKと民放に毎年出捐を要請しています。NHKは、センターの社会的意義を踏まえ、民放と歩調を合わせて出捐要請に応じてきました。

センターは、2012年度に公益財団法人に移行したことを契機に「向こう5年間の事業方針」を定め、2012年度の出捐額に比べ、2013・2014年度は10%削減、2015年度から2017年度までは30%削減と、段階的に削減してきました。さらに2018年度以降については、「次期5年間・平成30～34年度の事業方針」を定めましたが、マイナス金利により、基金の運用益だけでは依然事業運営が困難で

あるため、2017年度の出捐額から据え置き5,659万5,000円の要請がありましたので、この金額を出捐したいと考えます。

本件が了承されれば、10月23日開催の第1316回経営委員会に諮り、議決が得られれば、総務大臣に認可を申請します。

(会長) ご意見等がありませんので原案どおり了承し、次回の経営委員会に諮ります。

2 報告事項

(1) 考査報告

(考査室)

平成30年8月27日から30年10月3日までの間に放送した、ニュースと番組について考査した内容を報告します。

この期間に、国内放送番組では、ニュース21項目、番組86本の考査を実施しました。

ニュースの主な項目としては、北海道初の震度7の地震では大規模な土砂崩れで多くの方が犠牲となり、道内全域で起きた停電が暮らしに深刻な影響を及ぼしたこと、台風21号が非常に強い勢力のまま四国や近畿に上陸して暴風や高潮の被害をもたらし、関西空港は滑走路の浸水や、連絡橋に船が衝突するなどして閉鎖が続いたこと、安倍首相とアメリカのトランプ大統領が会談し、農産品を含む2国間の貿易協定・TAGの交渉を開始し、交渉中は米国が自動車関税引き上げ措置を発動しないことで合意したこと、世界的金融危機のリーマンショックから10年となり、アメリカや日本をはじめ、世界経済に今も影響が残っていることなどです。

番組では、犯人を特定できないまま時効が成立した「警察庁長官狙撃事件」の全貌に、独自に入手した資料と捜査関係者への徹底取材で迫った、NHKスペシャル「未解決事件 File.07 警察庁長官狙撃事件」のドキュメンタリー（総合・9月2日放送）と実録ドラマ「容疑者Nと刑事の15年」（総合・9月8日放送）、今年、卓球の絶対王者・中国のメダリストを次々撃破した張本智和、伊藤美誠両選手の強さの秘密に迫った、NHKスペシャルのシリーズ TOKYOアスリート第1回「卓

球 驚異の10代」(総合・9月23日放送)、テレビ放送開始65年を記念して、日本テレビのスタジオにNHKと日本テレビそれぞれのセットを構え、それぞれの出演者やVTRを通じてスポーツ名場面や感動秘話を紹介した、「NHK×日テレ同時生放送 テレビ65年 スポーツのチカラ」(総合・9月22日放送)、10代の自殺が最も多い夏休み明けの9月1日の前日に、若者の声を受け止め共有する、「ハートネットTV+」の「#8月31日の夜に。～2018年夏休み ぼくの日記帳～」(Eテレ・8月31日・9月1日放送) およびネットでの展開などを考査しました。

地域番組では、創部4年で初めて部員がそろい全国大会への出場が実現した女子球児たちの夏を追った、ラウンドちゅうごく「笑顔がつないだ“熱い”夏～佐伯高校 女子硬式野球部」(総合・中国ブロック・8月31日放送)、やんばるの森に囲まれた特設スタジオに地元ゆかりのゲストが集まり、珍しい生き物の生態を紹介したクイズバラエティー、「まるごと体感!奄美・沖縄 奇跡の島々」(総合・九州沖縄ブロック・8月31日放送)などの番組を考査しました。

また、国際放送では、外国人向けテレビ国際放送「NHKワールド JAPAN」のニュース4項目と番組2本の考査を実施しました。非常に強い台風21号(ジェビー)が西日本を縦断する中、日本に滞在している外国人に向け、進路に当たる地域では不要不急の外出を避け自治体からの情報に気をつけて早めの非難を心がけるよう呼びかけ、英語など9言語による情報サービスなどを紹介した「NEWSLINE」(日本時間9月3～8日)、世界の国々をテーマに着物を創作し、2020年の東京オリンピックでの披露を目指すプロジェクトに密着した「KIMONO REVOLUTION」(日本時間9月2日放送)などです。

考査の結果、これらの一連のニュース・番組は、放送法、国内番組基準、国際番組基準等に照らし、妥当であったと判断します。

(2) 放送番組審議会議事録(資料)

編成局と国際放送局から、中央放送番組審議会、国際放送番組審議会、全国の地方放送番組審議会(関東甲信越、近畿、中部、中国、九州沖縄、東北、北海道)の平成30年7月開催分の議事録についての報告。

注：放送番組審議会の内容は、NHKのホームページ「NHKオンライン」の「経営情報」のなかに掲載しています。

以上で付議事項を終了した。

上記のとおり確認した。

平成30年10月23日

会 長 上 田 良 一